

平成21年度臨床検査精度管理調査報告会

平成22年 3月 5日(金)午前10時より日本医師会館大講堂において標記の報告会が開催された。

この報告会は、平成21年 9月に実施された平成21年度(第43回)臨床検査精度管理調査の分析・検討を行い、参加施設の質的向上に資することを目的に開催された。

唐澤祥人日本医師会長の挨拶、阿曾沼慎司厚生労働省医政局長(代読)の来賓挨拶ののち、午前中は日本医師会臨床検査精度管理検討委員会委員長の高木康先生の座長により臨床化学一般検査、酵素検査、脂質検査・甲状腺マーカーの報告が行われ、午後からは日本医師会臨床検査精度管理検討委員会副委員長の前川真人先生の座長により、HbA1c・腫瘍マーカー、感染症マーカー・免疫グロブリン・尿検査、血液検査、測定装置利用の動向の報告が行われた。

今年度の参加施設は、全国の関係施設より3,159施設(昨年:3,161)あり、当日の参加者は医療関係者など約650名であった。

■ 挨拶

日本医師会長 唐澤祥人

日本医師会では、臨床検査の質的向上を図るため、昭和44年から臨床検査精度管理事業を行っており、本年は第43回目にあたる。3,159施設にご参加いただいた。これもひとえに皆様方の本臨床検査精度管理事業に対するご理解のたまものと厚く御礼申し上げます。

日常診療において正しい臨床検査データは、良質で安全な医療を提供するための基本であり、単に健康診断などの疾病予防の場にあっても不可欠である。

平成20年4月から高齢者医療確保法に基づく特定健診・特定保健指導が開始された。特定健診を行う健診科においては、外部精度管理を定期的に受け、検査値の精度が保障されていることが必須条件とされている。このようなことから臨床検査精度管理の重要性は今後ますます増大するものと考えます。

本日は、今年度の調査結果と各部門別に分析・検討いただく。この報告会が本日ご参加いただいた各施設の臨床検査精度のさらなる向上につながるものとなるよう、心より願っている。

■ 総括

日本医師会臨床検査精度管理検討委員会委員長
高木康

今年度参加施設は、大学病院等135、厚労省臨床研修指定病院400、一般病院(200床以上)691、一般病院(200床未満)987、精神科病院等63、医師会病院・検査センター133、登録衛生検査所401、健診機関170、その他179の計3,159施設であった。

調査項目は、①臨床化学一般検査、②酵素検査、③脂質検査、④HbA1c、⑤腫瘍マーカー、⑥甲状腺マーカー、⑦感染症マーカー、⑧免疫グロブリン、⑨尿検査、⑩血液学的検査、⑪凝固検査等46項目とした。

試料の配布は、平成21年9月8日(火)に保冷剤入りウレタン容器に詰めて配送、調査回答は手書きの郵送方式とインターネットを併用した。クレームは、早着、遅着、担当者への直接手渡し希望、試料の冷凍保存の不備、調査票の事前配布など50件にのぼった。

集計上の問題点として、測定原理や緩衝液などでの分類間違いや桁間違いなどの誤記入が見られ、記載方法を間違っている施設も少なくなかった。各検査室は、自施設の測定試薬のメーカー名、測定原理、基質、緩衝液、標準物質を再度確認し、知っておくべきである。

評価・評点としては、補正共通CV値とコンセンサスCV値を適切に併用し、尿半定量検査はランク別評価とした。臨床化学検査では可能な限り一群評価を試みたが、多くは原理別と

なってしまった。平均値からの偏りが大きな試薬やドライケミストリー法はその程度を算出して独立評価とした。誤登録項目は「評価せず」とした。

今年度の結果として、トレーサビリティ確認は約70%前後の施設で実施されており、特に健診施設では高率であった。臨床化学一般項目と酵素項目ではバラツキが小さく、施設間の互換性が確保できていると考えられた。総コレステロールは収束したが、HDLおよびLDLコレステロールは試薬間差が見られた。HBs抗原では、陽性試料を陰性と判断した施設が15、陰性試料を陽性と判断した施設が34、HCV抗体では陰性試料を陽性と判断した施設が4、陽性

試料を陰性と判断した施設が3もあった。尿検査では判定が分散しないような濃度設定としたが、左右にずれた施設もあり、目視法での判定基準、判定装置の設定基準を再検討していただきたい。

今後の検討事項としては、①次年度は検体数の参考調査を腫瘍マーカーについて実施したい、②腫瘍マーカーについて、使用測定キット別の集計からメーカー別の集計に基づくことも検討していかなければならない、③腫瘍マーカーについては、現在6%のコンセンサスCVを5%に設定することを予定している、④メーカー間・内の努力による試薬の方法間変動の収束を期待したい、などの項目があげられる。

日本医師会女性医師バンク

求職者・
求人者向け

登録受付中

登録・紹介 **無料**

日本全国、会員でない方も登録できます

求職(求人)登録票のご請求は、中央センターまでお申込下さい

日本医師会女性医師バンクの特色

無

料 登録・紹介等、手数料は一切いただきません。

日本全国

日本全国の医師、医療機関にご利用いただけます。(会員でない方も登録できます。)

個別対応

就業に関するご相談は、コーディネーター(医師)が、丁寧に対応いたします。

予備登録

今すぐに働く予定のない方もご登録いただけます。

秘密厳守

ご登録いただいた情報は、適正に管理し、秘密は厳守いたします。

このたび、社団法人日本医師会は日本医師会女性医師バンクを開設いたしました。(平成19年1月30日開設) 日本医師会女性医師バンクは、就業を希望する医師に、条件にあった医療機関を紹介し、勤務環境の調整を含め、採用に至るまでの間の支援を行い、再就業後も様々なご相談に応じます。

厚生労働省委託事業 **日本医師会女性医師バンク** 厚生労働大臣許可 13-ユ-301810

(ご連絡・お問合せ先)

中央センター

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

日本医師会館 B1

TEL: 03(3942)6512 FAX: 03(3942)7397

(各拠点)

東日本センター

日本医師会館内

西日本センター

福岡県医師会館内